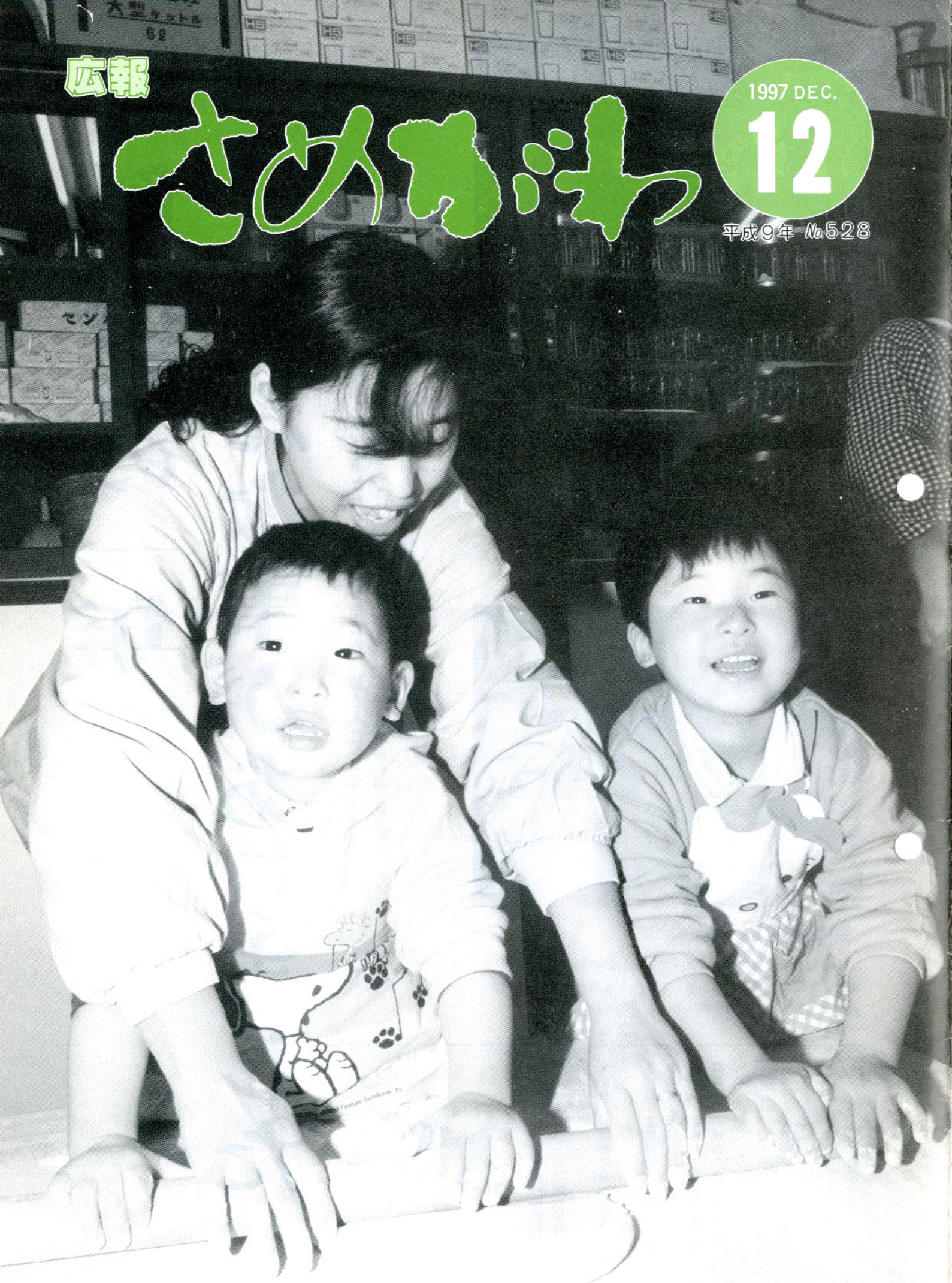
広報

さやかぶき

1997 DEC.
12
平成9年 No.528



親子でそば打ち（たんぽぽ教室で）

鮫川この一年
こんな事がありました

今年も残すところあとわずかとなりました。皆さんにとって、平成九年はどのような年でしたか。今月号では「広報さめがわで見るこの一年」と題し、村の主な出来事を拾ってみました。



村税完納40年・地方自治50年記念式典

村税完納継続40年と地方自治法施行50周年を記念し、３月16日に農業者トレーニングセンターで式典を開催。村政発展に功績のあった個人や団体を表彰しました。佐藤栄佐久福島県知事もお祝いにかけつけました。



第49回鮫川村成人式

１月15日、山村開発センターで「第49回鮫川村成人式」が行われ、20歳の門出を祝福しました。今年は男子39人、女子51人、合わせて90人が大人の仲間入りをしました。

平成９年の主なできごと

１月
- ４日　村消防団出初式
- 15日　第49回鮫川村成人式
- 16日　健康相談会（～２月28日）
- 19日　文化財防火デー火災防御訓練（諏訪神社）
- 26日　東京鮫川会総会（東京都新宿）。村民スキー教室（沼尻スキー場）

２月
- ２日　第９回綱引き大会で青生野チームが男女とも７連覇
- 15日　西野小ＰＴＡ・緑の少年団各賞受賞祝賀会



高野博光さん 献上米栽培農家に選ばれる

宮中行事「新嘗祭（にいなめさい）」に献上される米の献穀者として、高野博光さん（大字西山字発地岡）が宮内庁から指定を受けました。これは、村始まって以来の名誉。5月26日に「御田植祭」、10月16日には「抜穂祭（ぬきほさい）」が行われ、10月30日に皇居で行われた「新嘗祭献穀献納式」で、芳賀村長とともに精米五合を献上しました。





村消防団が県知事表彰

県消防協会主催の「第50回福島県下消防大会」が5月28日に白河市で行われ、村消防団が県知事表彰を受けました。これは、消防活動全般において優秀と認められたものです。

・24～25日　阿武隈南部高原ふるさと物産フェア開催（東京都新宿）

3月

・9日　火災防御訓練（落合地内）。火防督励
・13日　鮫川中学校卒業式で84人が巣立つ
・14日　各保育所お別れ会
・16日　村税完納40年・地方自治50年記念式典
・19日　幼稚園卒園式
・21日　各小学校で卒業式
・29日　戸倉の里で「福寿草まつり」

4月

・4日　各保育所で入所式（西山分室は5日）
・6日　竹飛歩学園入園式
・7日　小・中学校入学式
・8日　幼稚園入園式
・22～24日　鮫川中学校で沖縄へ修学旅行
・27日　春季清掃・道路河川愛護作業。火防督励

5月

・3日～4日　鮫川ふるさと春祭り（ほっとはうす・さめがわ他）
・10～11日　東京鮫川会「ふる里探訪・ゴルフ大会」
・18日　小学校運動会（青生野、渡瀬、富田、鮫川）
・26日　西山小学校・鮫川保育所西山分室運動会。高野博光さんが新嘗祭献穀田御田植祭を行う（田中地内の水田）
・28日　第50回福島県下消防大

鮫川ふるさと春祭り

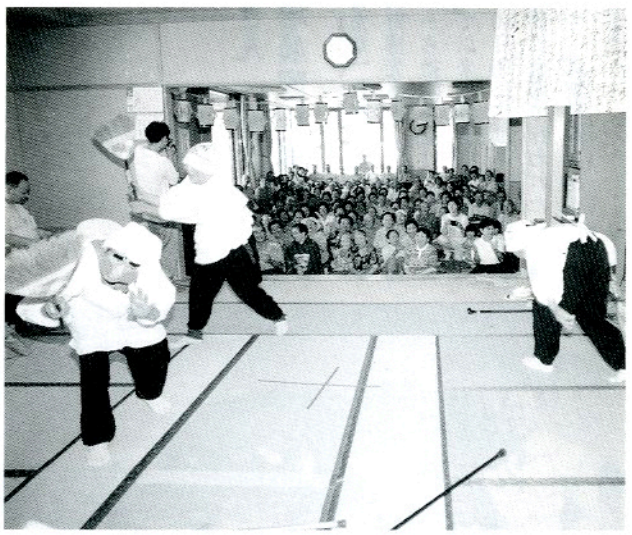
村内各種愛好会などが実行委員会を組織し「鮫川ふるさと春祭り」を五月三日・四日に開催。「やまめのつかみどり」や「そば打ち体験」「パラグライダー体験飛行」などが人気を集めました。





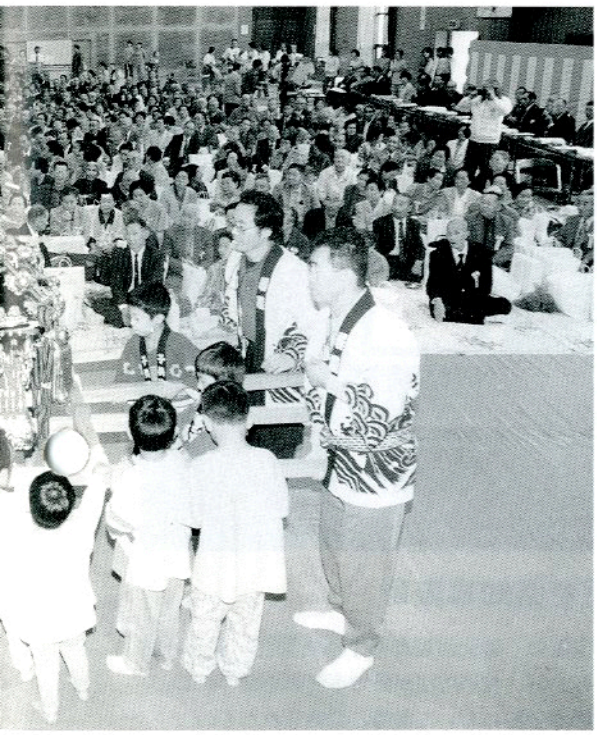
納税組長会議

恒例の納税組長会議を６月15日に山村開発センターで開催し、村税完納のさらなる継続を誓い合いました。また、会議終了後、今年４月にオープンした「交流施設体験館」を視察しました。



ふくし夏まつり

村と社会福祉協議会が主催し「第１回ふくし夏まつり」を７月20日に「ひだまり荘」で開催。総勢130人の村民ボランティアの協力のもと、高齢者や障害者福祉への理解を求めました。



平成９年度敬老会

九月十五日（敬老の日）、農業者トレーニングセンターで敬老会が行われ、昨年より四十人多い八百七十七人（男性三百三十三人、女性五百四十四人）が招待されました。

会で村消防団が県知事表彰

6月

- 8日　第7回さわやか高原ロードレース大会（鹿角平周辺）
- 22日　健康づくり夏季球技大会

7月

- 6日　村内全域でクリーンアップ作戦
- 20日　少年少女球技大会で鮫川小Aが優勝。第1回ふくし夏まつりを開催
- 27日　県南青年交流実行委員会主催の「独身男女の集い」が鮫川村で行われる

8月

- 3日　消防操法県南大会小型ポンプの部で村消防団（第5分団）が準優勝
- 8日　村民ふれあいグランドゴルフ大会で中野Bが優勝
- 9日　竹飛歩学園開園10周年記念イベント（東京都）
- 15日　東京鮫川会ふる里親善ソフトボール大会。ニジマス釣り好楽会。戸倉の里で「魚つかみ大会」。鮫川花火大会
- 28日　学校給食センター改築工事起工式（宿ノ入地内）

9月

- 3～12日　住民健康診査
- 5日　村道関下関口線道路改良工事起工式
- 7日　西野小学校運動会
- 15日　敬老会に877人が招待される
- 22日　戦没者追悼式・慰霊祭
- 23日　秋季清掃。道路河川愛



独身男女52人鮫川村に集う

7月27日、県南青年交流実行委員会の主催による「独身男女の集い」が鮫川村を会場に行われました。農業者トレーニングセンターでバレーボールを楽しんだあと、鹿角平観光牧場でパラグライダーやバーベキューを行い、交流を深めました。



学校給食センター起工式

8月28日、学校給食センター改築工事の起工式が、宿ノ入地内（ひだまり荘南側）の現地で行われました。来年3月完成、来春から稼働の予定。



高原の鮫川うまいもの祭り

今年で10回目を迎えた「高原の鮫川うまいもの祭り」が10月19日に鹿角平観光牧場で行われました。鮫川牛のバーベキューをメーンに、農産物などの鮫川産品をピーアール。村内はもとより、県内外から約6,000人が訪れました。



護作業。火防督励
・28日　消防団秋季検閲・消防団県知事表彰旗受賞祝賀会

10月

・1日　郡老人クラブ連合会ゲートボール大会が、さぎり荘ゲートボール場で開かれる
・16日　高野博光さんが新嘗祭献穀田抜穂祭を行う
・19日　第10回高原の鮫川うまいもの祭りに6千人の人出
・25日　村道石井草遠ケ竜線竣功祝賀会
・30日　高野博光さん夫妻が皇居で行われた「平成九年度新嘗祭献穀献納式」で、芳賀村長とともに精米五合を献上

11月

・7日　第50回畜産共進会
・9日　火災防御訓練（江竜田地内）。火防督励
・16日　第2回村青少年主張大会。文化講演会で女優の由美かおるさんが「心とからだの健康法」をテーマに講演
・23日　第9回ふくしま駅伝大会で、鮫川村チームが総合68位
・24日　第2回新そば祭りが「ほっとはうす・さめがわ」で行われる
・30日　第8回村民駅伝大会で中野チームが初優勝

12月

・6日　高野博光さんが新嘗祭献穀献納報告会を行う（ルネサンス棚倉）

100人に1人が精神分裂病

十月二十一日、山村開発センターで精神保健福祉セミナーを開催しました。石下恭子県南保健所長を講師に迎え、「ストレスと心の健康」と題した講演会を行いましたので、その内容の一部を紹介します。



いしげ・きょうこ　福島県立医科大学卒。保原保健所長、二本松保健所長を経て、平成９年４月から県南保健所長。二本松保健所時代には、県内初の精神障害者通所授産施設「ニコニコふれあいセンター」を開所させるなど、精神障害者が健常者と同じ地域社会で「共に暮らし、共に生きていける地域づくり」のため活動を続けている。

ストレスと上手に付き合う

丈夫な体でありたい。そして、豊かで健康な心を持ちたい。誰もが願うことだと思います。ところが、体はもちろん、心も健康であり続けることは非常に難しいことです。誰かの悪口を言ったり噂話をしたことがあるでしょう。これは、常に自分がかわいくて、自分が一番だと思ってしまうからなんですね。ですが、自分とまったく同じ性格の人が隣にいても、その人の悪口を言ったり、けんかをしたりするものなのだそうです。自分とでもけんかをしてしまうくらい、常に私たちは満足するということがないのです。そして、何でも自己中心に考えてしまうのです。このように毎日、大なり小なり何かを我慢しなければならないので、それがストレスになってしまっているのです。

自分にとって快適でない状態をストレスと言います。ストレスを感じない人は世の中にはいません。しかし、ストレスをどのように意味付けするかによって、感じ方が変わってきます。そして、その解釈の仕方が、心の健康を保つことにもつながってきます。

私たちは、胃が弱い、のどが弱いなどというように、誰でも一つは体のどこかに弱い所を持っています。その弱い所を医学用語で「抵抗減弱部」と言い、長い間ストレスが加わると、この抵抗減弱部に症状が現れてきます。別な言い方をすれば、ストレスがでてきやすい所が、その人にとっての抵抗減弱部だということです。これがストレスによって起こる病気だと言えます。

胃潰瘍は、皆さんよくご存じだと思いますが、高血圧症もその一つです。高血圧は、塩分のとり過ぎなどといわれますが、それだけでなくストレスも関係しているのです。ほかにも、下痢や肩こり、頭痛、腰痛、バセドウ病、また最近増えている、女性では乳がん、男性では前立腺がんなど、数えたら切りがないくらいストレスによる病気はあるのです。ストレスによる病気は自分の弱い所に起こるので、抵抗減弱部を知ることが、ストレスと上手に付き合っていく方法の一つかと思います。また、ストレスを持ち続けないように、解消することも大切です。

心の病気は体の病気

血圧が高い、胃潰瘍など、体の病気は隠さずに言えると思いませんか。しかし、同じストレスが原因の病気でも、人前では言えない、隠したいというものが心の病である「精神分裂病」「そううつ病」です。

自分が心の病になるのではないかと心配している人は、そう多くはいないと思います。自分はならない病気、自分とは関係ない病気だと思っているからです。そのため、嫌な病気、特殊な人だけがなる病気という偏見が生まれてしまうのです。しかし、精神分裂病は、およそ百人に一人がかかる病気なのです。精神分裂病の患者さんを見ていると、病気になりやすいとか、遺伝とかいうものだけでなく、ストレスが関係しているように思います。心の病気も体の病気と同じで、誰にでもなる可能性があります。ですから、高血圧や風邪などと同じ身近な病気だということを理解してほしいと思います。

次に「そううつ病」ですが、どちらかといえば「自分は大金持ちだ」「アメリカの大統領だ」などという誇大妄想を持つ「そう病」よりも、憂うつになる、ふさぎ込んでしまうという「うつ病」のほうが多いんです。子育てに一生懸命だった母親が、子どもが独り立ちしたあとに、何をしたらいいのか分からなくなり無気力になってしまう「空の巣症候群」と呼ばれるものや、家を新築して幸せだったのに、ふと借りたお金は返せるのかと心配になり、そればかり気になってふさぎ込んでしまうといったものもあります。うつ病の初期症状は、つまらないことでも気になり不安になって、眠れなくなります。考えることは悪いことばかり。自分は何のためにここにいるのか、生きていても仕方がないのではなどと考えているうちに、死ぬことしか考えられなくなり、飛び降りたり、首を吊ったりしてしまいます。うつ病には自殺がつきものです。これも元を正せば、ストレスがあって起こるものなのです。もし何か心にひっかかることがある場合、あるいは気が晴れない場合には、それらを解決しなければなりません。

会話は心を豊かにする

人は話をするだけで、また聞いてもらうだけで、いつの間にか自分で解決方法を見つけているのです。しかし、最近の家庭のなかには、会話が少なくなってきているように思います。皆さんの家庭ではどうでしょうか。三世代、四世代が同居している家庭が多いかと思いますが、そのなかで会話がどれくらいあるでしょうか。

お年寄りの自殺が多いのですが、一人暮らしや夫婦だけで生活しているお年寄りよりも、三世代、四世代同居の大家族で生活しているお年寄りの自殺が圧倒的に多いのです。それは、話を聞いてくれる人がいないからだといわれています。今のお年寄りは、一日平均六時間は黙って過ごすそうです。日中など、一人で過ごすときはもちろん家族が帰ってきてからも話を聞いてもらえず黙っている。嫌なことだけでなく、楽しかったことさえも話せない。そのために、心がさびしくなって自殺してしまうということなのです。ですから、家族で会話するという習慣づけが大切です。家庭で会話がないということほどさびしいことはありません。

家族と会話できる人は、周りの人とも会話ができます。会話は簡単なようでも難しいのです。話をするだけでなく、聞くという行為を同時に行わなければなりません。話の仕方やきっかけを考えながら、自分の心の中を相手に伝え、同時に相手の心の内の聞き出し方を日々の生活の中で学んでいくことが、ストレスを解消して心を豊かにしていくためには大事なことではないでしょうか。その積み重ねが、大切な家族を守り、地域を守っていくことにもつながると思います。

人は人と付き合うことで、自分が持っていないものを相手から引き出し心が豊かになっていきますが、付き合っていくなかで相手を傷つけてしまったり、逆に傷つけられてしまったりすることもあります。しかし、傷ついたり、病んでしまった心は、人とのつながり、付き合いのなかで癒してもらえるものでもあります。どうか、心が病んでしまった人たちに対しても、温かい手を差し伸べてあげてください。皆さんがかかわることで、病んでしまった人たちの心も癒されるものなのですから…。



講演会には約80人が参加

暮らしの慣れが火災を招く

ストーブなどの暖房器具が活躍する季節がやってきました。この時期は、特に火災が発生しやすくなります。火災は、かけがえのない命はもちろん、大切な財産までも奪ってしまいます。そこで、今月号では、火災の予防について、鈴木棚倉消防署鮫川分署長に話を伺いました。

―最近の火災の発生状況について教えてください。

白河消防本部管内（白河市、西白河郡、東白川郡）の状況をみますと、平成八年一月一日から十二月三十一日までの一年間に、百件の火災が発生しています。月別では、冬から春先にかけて多く発生しており、その原因をみてみると、冬はストーブやコンロによるもの、春先はタバコやたき火によるものが特に目立ちます。

―火災を起こさないためには、どのような注意が必要ですか。

これからは、寒さが厳しくなることから、石油ストーブなど暖房器具の使用が多くなり、出火の危険性が高くなります。暖房器具の使用には十分注意してほしいと思います。

まずは、カーテンや家具などの近くでは絶対に使用しないこと。また、使用後は、完全に消火するとともに、消えたことを確認してほしいと思います。

鮫川分署では、十一月二十日から一月五日まで「年末年始特別警戒」を実施し、火災の予防を呼びかけています。年末年始は来客が多くなるため、何かと気ぜわしくなり、火に対する注意が薄れることが予想されます。コンロなどの使用には十分に注意をお願いします。特に、天ぷらなどを揚げるときは、その場を絶対に離れないでください。離れるときは必ず火を消すことを習慣づけてほしいと思います。

風呂釜の火災も心配ですので、点火するときは、浴槽に水が入っていることを必ず確認してください。水抜き栓がゆるんでいたため点火後に水が抜け、空だきとなり火災になった例もありますので、浴槽の栓は水漏れがないようにしっかりしめてください。また、ボイラー、石油タンク、風呂釜付近に油の漏れがないか確認するようにしてください。

これからの季節は雪が多くなります。雪によって煙突が壊れて火災になることもありますので、煙突の破損がないか、時々確認してほしいと思います。

―万一の火災に備えて、日ごろから実践できることは。

消火器は、万一のときに必ず役立ちますので、各家庭で備えられることをお勧めします。ま



ちょっとした不注意が…



棚倉消防署鮫川分署
鈴木義美 分署長

た、現在備えられている消火器についても、使用期限（約五年）と、サビが出ていないかなどを点検してほしいと思います。消火器は、火が天井に移る前の初期消火に使用するものです。早く見つけて、早く消すことが大切です。そのためには、消火器の使用方法を常に身につけておき、素早く対応できるようにしてほしいと思います。

―― 子どもに対しては、どのようなことに注意しなければならないでしょうか。

各小・中学校、幼稚園、保育所などでは、訓練などを通して火災の怖さ、火遊びをしないことなどを指導していますが、家庭においても日ごろから十分なしつけが必要だと思います。また、マッチやライターなどは、子どもの手の届かない場所に保管することも必要ですね。子ども部屋の暖房器具については、親が定期的に点検し、安全を確認してほしいと思います。

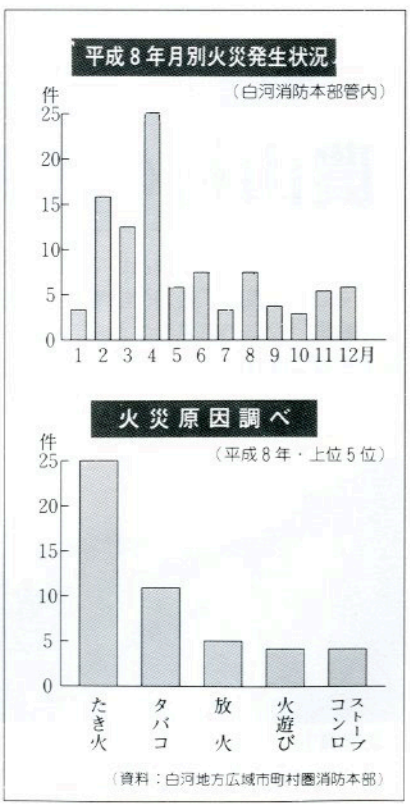
―― そのほかに、注意しなければならないことはありますか。

全国的なデータをみますと、出火の原因の第一位が「タバコ」によるもの。第二位が「放火」。第三位が「放火の疑い」の順になっており、放火による火災が後を絶ちません。ですから、家の周りをきちんと整理し、燃えやすい物を置かないこと。つまり、燃やされない環境をつくることが大事です。

それから、鮫川村の地域性としては山林の占める割合が高いため、山林火災になると大きな被害を受けるという恐れがあります。昭和六十二年に起きた江竜田の山林火災が一つの例です。特にたき火には注意し、タバコの投げ捨ては絶対にしないよう十分気をつけてほしいと思います。

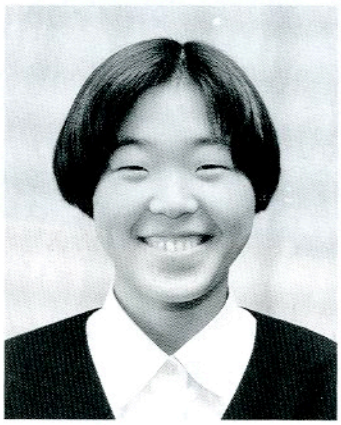
そして、一番怖いのは「慣れ」だと思います。私たちの身の回りには、灯油、ガソリン、プロパンガス、電気など、危険な物がたくさん存在していますから、危険と共存していると言っても過言ではないと思います。生活が便利になり、暮らしやすくなる一方、危険な物でも慣れてしまうと危険を感じなくなってしまうということがあるんです。これが一番怖いですね。もう一度、それぞれの性質や危険性を再認識して生活してほしいと思います。

火災はすべてを焼きつくしてしまいます。日ごろからの心がけで、悲惨な火災を出さないように気をつけてほしいと思います。



最優秀賞に関根香緒里さん

第二回鮫川村青少年主張大会が、十一月十六日、山村開発センターで開かれ、各小中学校、高校、青年の代表八人が、日ごろ考えていることなどを発表しました。審査の結果、鮫川中学校二年の関根香織里さんが発表した「私たちが障害者にできること」が最優秀賞に輝きましたので、その内容を紹介します。



鮫川中学校　2年
関根香織里さん

みなさんは、障害者の方と接したことがありますか。

障害者というひびき、何不自由なく生きている私たちには遠いひびきなのだと思います。しかし、今現在でもそのひびきで苦しんでいる人がいるのです。見たくても見られない。聞きたくても聞けない。話したくても話せない。歩きたくても歩けない。さわりたくてもさわれない。そんな人たちを見かけたとき、私たちは何をしてあげなければいけないのでしょうか。もし自分が、その立場に立ったら何を求めるのでしょうか。

私は、学校行事のふる里の時間、手話に興味を持ち、手話教室に入りました。そこで、ろうあ者の方に会いました。その方は、今までのことを手話で話してくれました。手話は全然といっていいほど分かりませんでしたが、顔と口の動きで何となく言いたいことが伝わってきました。その方は、とても感情が豊かな方だったからです。そして、こんなことを言っていました。

「ろうあ者としての暮らしは、本当に大変なのです。まずは、健聴者とは話が通じないため、筆談しかありません。しかし、くい違いが多く、もめた例も少なくはありません。私の願いは、健聴者に手話を覚えてほしいことです。それが無理なら、筆談だけでもにこやかに応じてほしいのです。」

このろうあ者の願い、そして思いを聞いてあげるべきではないでしょうか。何不自由なく生きている私たちに、苦しんでいる障害者が気をつかっているのです。本当にこれでいいのでしょうか。障害者を思い、健常者が気をつかってあげるのが本当の姿だと思います。同情だけで接してほしいと言っているわけではありません。障害者と健常者の壁をとって接してほしいのです。

また、私はこんな光景を見たことがあります。小学一、二年の女の子が車いすにのり、それをお母さんが押しているところです。その女の子

写真展「さめがわの四季」
農山村の原風景

村では、文化祭の一環として「農山村の原風景」をテーマに、写真展「鮫川の四季」を開催しました。審査の結果、22点の応募の中から、蛭田正さんの作品が最優秀賞に選ばれました。各賞は写真のとおりです。



【最優秀賞】稔りの秋
蛭田　正さん（渡瀬字田苗下）



【優秀賞】山峡の雲海
矢吹一男さん（赤坂西野字大塩）

は、自分の足で歩くことができないくやしさと、自分の足で歩いている、自分と同じくらいの年の女の子をうらやましそうな表情で見ていました。それを見ていたお母さんは悲しそうな顔をしていましたが、女の子にはそれを見せないかのように、笑顔で何かを話しかけていました。そして、駅の方へ行きました。私は、思わずあとをつけてしまいました。すると、車いすを持ち、女の子をかかえたお母さんが階段をのぼるところでした。それを見ていた一人の男の人が手をかしてあげました。この世の中には、障害者を思う、とてもすばらしい人がいるのだとあらためて感じさせられました。そして、その女の子のお母さんは、その人が見えなくなるまで頭をさげていました。私はこの時、今までにない喜びを覚えました。あの時、手をさしのべてあげることは、とても勇気のいることだと思います。それを行動にうつした一人の男の人は、とてもすばらしい人だと感じました。そして、私はその人をほこりに思います。

障害者であるということが、どんなにつらく悲しいことか、みなさんに分かってほしいのです。見たり、聞いたり、話したり、歩いたり、さわったりなどできないのです。もし自分が障害者であったら、健常者に自分の気持ちを分かってほしい。そして、温かい心で接してほしいと思うのが当然です。もし、障害者の方と接する機会があったら、温かい目で、優しい言葉で、手をさしのべてあげてほしいのです。それが、障害者と健常者の壁を取るきっかけになるのではないのでしょうか。

健常者は、障害者になれるけど、障害者は健常者にはなれないのです。だから、障害者を思う心、私たちが障害者にしてあげられることを、決して忘れてはいけないのです。いつかきっと、心の壁のない世界が広がるはずです。



第8回村民駅伝大会

中野地区が初優勝

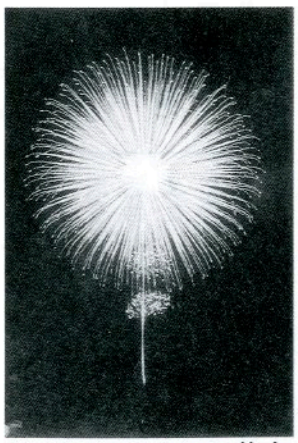
村体育協会の主催による「第８回鮫川村民駅伝競走大会」が11月30日(日)、役場前をスタート・ゴールとする13区間、32.20キロのコースで行われ、中野地区が初優勝を果たしました。総合順位、区間賞は次のとおりです。

〔**総合順位**〕　第１位＝中野(２時間12分13秒)、第２位＝富田（２時間12分41秒）、第３位＝東石（２時間12分43秒)

〔**区間賞**〕　第１区＝遠藤えりか（東石）、第２区＝関根均（西山）・湯坐純（中野）、第３区＝岡部陽太（中野）、第４区＝石井貴大（西山）、第５区＝須藤千恵子（西山）、第６区＝中川西幸（東石）、第７区＝舟木勝弥（西野）第８区＝中島雅隆（青生野）、第９区＝鈴木芳保（東石）、第10区＝遠藤ゆりか（東石）、第11区＝戸村和正(富田)、第12区＝岡部謙一(青生野)、第13区＝湯坐弘（中野）



【優秀賞】菅生館の桜の紅葉
鷲野谷　満さん(富田字二反田)



【入選】ふるさとの花火
須藤　好さん(赤坂西野字名下)



【入選】献上田のお田植え風景
松本　精一さん(富田字二反田)

むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたら
さしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111 内線214）

文化講演会

11月16日、村文化祭行事の「文化講演会」を山村開発センターで行いました。

講師は、テレビ「水戸黄門」などでおなじみの女優の由美かおるさん。「心とからだの健康法」と題し、約1時間半にわたり講演しました。会場には約400人が訪れ、立ち見が出るほどでした。

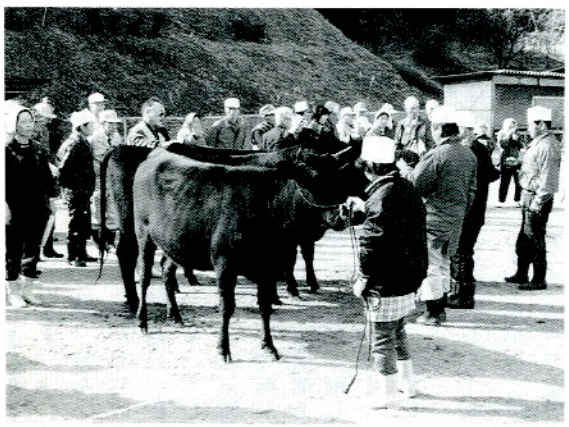
厚生省の医療審議会委員も務める由美さんは、在籍した「西野バレエ団」が編み出した「西野流呼吸法」を、実技を交えながら披露。全員で体を動かしながら健康呼吸法を学びました。



拍手で見送られる由美かおるさん

第50回畜産共進会

第五十回村畜産共進会が、十一月七日、村民運動場で行われ、肉用牛四部門に二十二頭、乳用牛三部門に十六頭が出品されました。審査結果は次のとおりです。



審査風景

〔**肉用牛**〕◎**グランドチャンピオン**＝第四部（経産牛）「きよこ」（鈴木清孝）◎**一等**＝第一部（生後十二カ月以上十六カ月未満）「たにみね」（長久保誠一）、第二部（生後十六カ月以上二十カ月未満）「まさひめ」（関根政信）、第三部（生後二十カ月以上二十六カ月未満）「すまこ3の2」（堀川宗則）

〔**乳用牛**〕◎**グランドチャンピオン**＝第二部（生後十八カ月以上二十六カ月未満）「ラッキーランド・ラスティ・アンテシベーション」（蛭田晃）◎**一等**＝第一部（生後十カ月以上十八カ月未満）「クリスチナ・ミッキー・ダンディ」（関根善徳）、第三部（経産牛）「グリーダ・チェアマン・クリエーション」（関根英也）

こんにちは保健婦です

健康ってどういうこと



村保健婦
鈴木　芳子

私たちが幸福な生活を営むためには、何よりも「健康」でなければなりません。ところで、健康とはどういう状態をいうのでしょう。基本的には「治療が必要な病気がない」といった消極的なものではなく、「積極的に生きがいを持って活動できる」といった状態であるということです。

わが国は、めざましい経済成長によって所得は増え、生活は大変便利になりました。また、平均寿命は伸び、青少年の体格にも著しい向上がみられます。反面、産業の機械化や、車、家庭電化製品の普及などによる労働の軽減により、運動不足による悪影響を及ぼしています。また、栄養の過剰摂取や偏りから、肥満、高血圧、心臓病などの慢性疾患の増加、複雑な人間関係などによるストレスの増加も大きな問題になってきています。

このような、健康を阻害す

第2回新そば祭り

鮫川村そば愛好会「わたしのそばがいい会」と交流施設「ほっとはうす・さめがわ」の共催による「第二回新そば祭り」が十一月二十四日、ほっとはうす・さめがわで開かれ、新そばの風味を満喫しました。

この日は、そば愛好会が丹精込めて栽培し、収穫したばかりのそば粉を使用。村内はもとより、県内外から約二百五十人が訪れ、そば粉一〇〇%の「手打ちそば」に舌鼓を打っていました。会場のあちらこちらからは「来年もまた来たい」との声が多く聞かれ大好評でした。

二回目の今年は「そば打ち体験」のコーナーも設けられ、家族連れなどに人気を集めていました。初めての体験という人が多く、愛好会の皆さんの説明を熱心に聞きながら、そば打ちに挑戦していました。



家族連れに人気を集めた「そば打ち体験」

栄養教室閉級式

村と食生活改善推進員「ひまわりの会」の共催による「栄養教室」が、7月8日から11月26日までの期間中、7回にわたり開催されました。

女性を対象としたこの教室は、健康づくり全般について学びました。

最終日の11月26日には閉級式が行われ、23人の参加者全員に修了証書が手渡されました。修了者の皆さんは、今後、食生活改善推進員（ボランティア）として地域の健康づくりのために活躍されます。



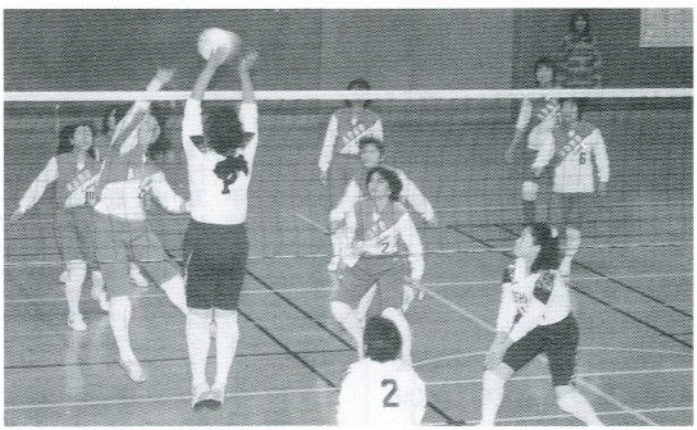
閉級式の様子

体協会長杯バレーボール大会

村体育協会長杯争奪バレーボール大会が、十一月二十四日、農業者トレーニングセンターで開かれ、熱戦が展開されました。

五チームの参加により、予選リンク戦が行われ、中野チームとフェイバリッツ（西野）がそれぞれ二勝で決勝戦に勝ち進みました。

決勝戦では、中野チームがフェイバリッツを二対〇のストレートでくだし、見事優勝に輝きました。三位は、予選リンク戦一勝一敗の青生野チームでした。



好プレイが続出

る要因に勝ち、生きがいのある生活を送るためには、まず、栄養、運動、休養の調和が大切になります。あなたは今、健康ですか。食事がおいしいですか。よく眠れますか。ひどく疲れるようなことはないですか。日々の生活を振り返り、栄養、運動、休養について考えてみましょう。

食べることは「生きる」こと、明日への活力源です。従って食事はとても大切で、死因の上位を占める病気のほとんどは食生活に関係しています。運動は、体の予備力を増し、加齢に伴う低下を防ぐために体に刺激を与えたり、肥満を防止するためにも大切です。最後に休養ですが、一般に肉体疲労については、過労を避け、睡眠、入浴、休息を十分にとり、ストレスなど精神的疲労や一日中同じ姿勢で仕事をしている人などは、スポーツ、レクリエーションなどで体を動かす方が疲労回復に役立つといわれており、これを積極的休養法といいます。

このように、健康を考える上で、いろいろな要素があります。楽しみや生きがいを持って生活するために、今の生活を振り返り、自分の健康を積極的に守っていきましょう。

CLOSE UP
クローズアップ

ストップ・エイズ

正しい知識と実践こそが予防策

十二月一日は「世界エイズデー」。一九九六年現在、世界のＨＩＶ感染者は約二千二百万人（推計）で、最近では、アジアでの感染が急増しています。エイズをこれ以上広げないために、そして克服するために、私たち一人ひとりが身近な問題として考えなければなりません。

偏見や差別をなくす

エイズは、生命にかかわる病気です。しかも、それが感染症であるために、エイズ患者やＨＩＶ感染者に対して恐れを抱いてしまう人は少なくないでしょう。しかし、ＨＩＶは、かぜなどのように簡単に感染するものではありません。その感染源は極めて限られ、会話をしたり皮膚に接触したりすることでは感染しません。患者や感染者と普通の生活をすることにまったく問題はないのです。

最も恐ろしいのはエイズに対する「無知」です。無知は患者や感染者に対する偏見や差別を生み出し、その人自身が感染し、またほかの人に感染を広げてしまう危険性をもはらんでいます。

エイズを克服し、これ以上感染を広げないためには、まず、一人ひとりが正しい知識を持ち、エイズに対する誤解や偏見を捨てて行動することが必要です。

増えている性的感染

ＨＩＶウイルスは感染力が弱く、その感染源は、体液の中で血液、精液、膣分泌液が主力。逆にいえば、感染源が特定できるために、予防がしやすいといえます。

感染の危険性が高いのは、感染者の血液に触れたり、血液が体内に入ったりすることや、感染者との性行為、出産や母乳など、通常の生活では、性交渉以外ではめったに感染することはありません。

日本での患者及び感染者のうち、感染原因として最も多いのは非加熱血液製剤による血友病患者の薬害のケースですが、現在は加熱血液製剤使用のため新しい感染はありません。目下一番多い感染経路は性行為による感染。最近では異性間の性行為による感染が増えています。

性行為による感染を防ぐためには、不特定多数の性交渉は避け、コンドームを正しく使用することが有効な手段です。

エイズ相談 ＨＩＶ抗体検査

県南保健所では、エイズ相談・ＨＩＶ抗体検査を次により行っています。

〔**日時**〕①毎週水曜日の午前中、②毎月第２・４火曜日の午後５時15分～８時30分

〔**場所**〕県南保健所（白河市）

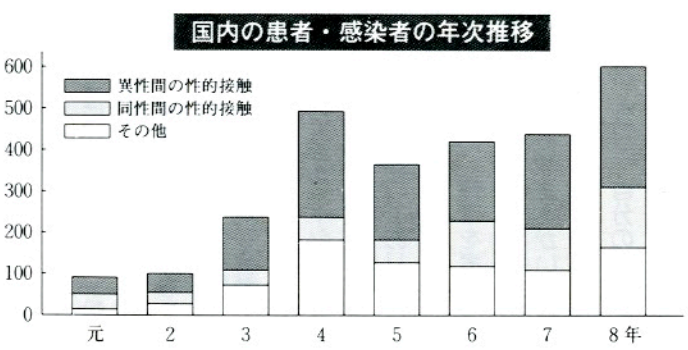
〔**申し込み**〕検査は事前予約が必要（予約受付時間は午前８時30分～午後５時）

〔**問い合わせ**〕県南保健所健康増進課疾病対策係（☎0248－22－5441）

■エイズとは

ＡＩＤＳ＝Acquired Immuno Deficiency Syndrome

日本語では「後天性免疫不全症候群」という。ヒト免疫不全ウイルス（ＨＩＶ）によって引き起こされるもので、体を病気から守る免疫機能が破壊され、悪性腫瘍やさまざまな感染症にかかる病気。感染後の潜伏期間は、六カ月から十年以上と長く、発病した症状を「エイズ」という。



文芸

村文化祭行事の一環として、短歌会が十一月十三日（木）、俳句会が十一月二十四日（月）に行われました。今月の文芸コーナーでは、それぞれの参加作品を紹介します。

俳句（村文化祭俳句会作品）

「天」

秋夕焼鍛冶屋がふっと力抜く　古殿町　渡辺　家造

「地」

日記には記さぬことも銀河澄む　塙　町　江田　実蝶

「人」

たわわなる柿や人なき峡部落　棚倉町　高杉　正生

火色にも見ゆる紅葉や発掘地　古殿町　薄井　日暮

草文字の枯れて牧野の閉ざさるる　新　宿　斉須　信子

十方の光をあつめ花八つ手　道少田　山本五十鈴

稲架襖足が見えてるかくれん坊　前　沼　黒田　寿香

かわり玉並ぶ親しさ冬うらら　道少田　山本　朗史

草紅葉刈りあつめては牛の胃に　反　田　小山田清哲

もの思う歩幅となりし秋に入る　二反田　大平　太平

積みし草カッター程よく切りて田に　押　目　北條素人坂

雲間もる光ひと筋山燃える　前　田　金沢三津子

新藁を縄一、二尺なつかしむ　白河市　矢部　正子

啄木鳥の斫切り込む峡冴ゆる　いわき市　金沢　暁舟

開拓の牧場広し農祭り　福島市　中井　恒峯

晴れ着きてじゃり道歩む七五三　鮫川分校二年　高宮　裕司

星空の下でささやくすすきかな　鮫川分校二年　岡部　妙子

兄弟で祝う成人卵酒　鮫川分校二年　斉藤　寿治

大空で風と飛び回る落葉かな　鮫川分校二年　金沢　淳子

短歌（村文化祭短歌会作品）

「天」

稔り田を刈る老い人に豊作を　棚　橋　関根　一好

云えば嘆かる米価値下げを

「地」

先祖より馬から牛と飼いつぎし　大　塩　岡部　シゲ

畜舎も遂に物置となる

「人」

減反よ米余りよと言われても　官　代　前田　栄美

農の願いの豊穣の秋

火葬釜閉まれば遺影ぽつねんと　田苗下　蛭田　浩市

己の焼けるを扉の外で待つ

女子高生「ルーズソックス」さりながら　鍬木田　松本　一郎

男子生徒のズボンが垂れる

虫の音をきかむと来たる畦道に　中野町　赤坂　朝子

咲いて揺れいるコスモスの花

夕空を白き線ひく飛行機は　反　田　越　虫　星　武

南方さしてゆくを見まもる

伝統の熊野神社の秋祭り　岨　長　北條　平

ハッケヨイヤの木霊がひびく

春秋を巡りめぐらせ金婚を　大　塩　水野　フク

祝えばすでに古希のわれかも

雀威しの張りめぐらせしメラテープ　田苗下　蛭田　正

田圃真中の早稲の黄色づく

只見川紅葉に早く屋形舟　大　塩　鈴木　クニ

船頭の歌ききつつめぐる

朝露に濡れし蝗も陽のさせば　大戸中　小松セツ子

鬼さんこちらと草の中

雛も見ゆ夫の顔を染めながら　菅ノ目　大竹　華子

病葉を焼く炎揺れたつ

衣を縫う手鍬を打つ手に料理の手　沼野沢　本郷　チヨ

時に短歌を記すわが手は

再びは戻らぬ今日とおもいつつ　二反田　大平　太平

わが為に過ごす二十四時間

しみじみとお伽話するときは　本　坂　藤田　初枝

われも還れり母のふところ

そえとげるとはいつならん二人して　名　下　須藤美代子

たがいに衰う身をかばえつつ

網戸越し蝗が静かに登り行く　本　坂　藤田　末光

稔りの秋に腹を満たして

豊作に落し穴ありつかの間の　楢久保　森　芳子

笑顔に寄せる減反の波

葉の落ちて垂れしぼみたる葡萄の実　新　宿　杉山　磯子

ふふむ一粒甘酢ゆき味



ふれあいひろば

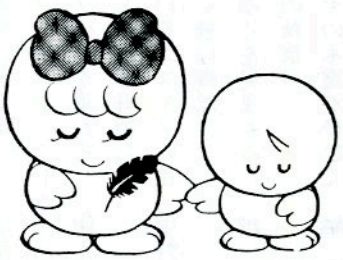
赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました

村社会福祉協議会

平成九年度の「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」を実施しましたところ、皆さんから温かいご協力をいただき、目標額を上回ることができました。この紙面をお借りしまして、心から厚く御礼申し上げます。

募金額並びに使い道については次のとおりです。



【募金目標額】
987、500円

【募金実績額】
1、035、690円

（内訳）
- 行政区　893、360円
- 職　域　139、102円
- 窓　口　3、228円

【使い道】
- 赤い羽根共同募金
  700、190円
- 堀川愛生園後援会募金
  60、000円
- 歳末たすけあい募金
  275、500円

なお、赤い羽根共同募金については、県内市町村の福祉事業などへ、歳末たすけあい募金については、村内の要保護世帯と長期入院者、各施設の入所者に越年見舞金として、十二月中に差し上げることにしています。



仲間たち

日本舞踊愛好会

会　　長　田子陽子（酒垂）
会　　員　6人
発足年月　平成6年11月
連 絡 先　会長宅（☎49－2371）
定 例 会　第1・第3木曜日　午後7時
　　赤坂西野区民センター
会　　費　月3，000円

私たち日本舞踊愛好会は、棚倉町の山田敏子先生の指導のもと、毎月2回、親ぼくを深めながら練習に励んでいます。

しっとりとした感じで、女性らしさを表現できる日本舞踊。また、頭と体を使うことで、心と体がリフレッシュできます。

年に数回、郡内の愛好者が一同に会し、年齢を問わず交流しています。

現在は、西野地区の人たちだけの活動ですが、村内に輪を広めたいと思っています。

老若男女、地区を問わず会員を募集しています。興味のある方、踊りの好きな方は、気軽に練習をのぞいてみませんか。

声 お寄せください

普段あなたが考えていること、村づくりに関する提案など、皆さんの声をお寄せください。（住所・氏名明記、紙上匿名可）

●あて先　〒963－84 鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5 鮫川村役場「広報さめがわ」行　FAX 49－2651

暮らしのワンポイント

車酔いを防ぐには

車酔いは、内耳の平衡器官が不規則な揺れに刺激されて起こる急性の自律神経失調症です。頭が痛い、アクビが出るという症状に始まって、顔色が悪くなり、冷や汗をかいて、ついには

東京鮫川会からこんにちは

故郷の山



鈴木　忠さん
東京都八王子市在住
赤坂東野字大石草出身

やさしく、穏やかに連なる阿武隈の山々。それが私の人生の原点です。

帰省の際、新白河の駅に降り立ち、遠くに連なる故郷の山並みを見ると、なぜか「ホッ」として、心の安らぎを覚えます。名山・秀峰といったものがない山々ですが、その優雅さ、美しさは、ほかでは見ることができない風景です。そして、棚倉から仏坂を登ると、一層その感が強まります。単に緑が多いとか、空気がきれいといったことだけでなく、静かに、やさしく、私を抱きとってくれる気がするのです。美しい川の流れも、澄みきった風も、そして人々の穏やかな暮らしぶりさえも、この山々が源になっているように思われます。

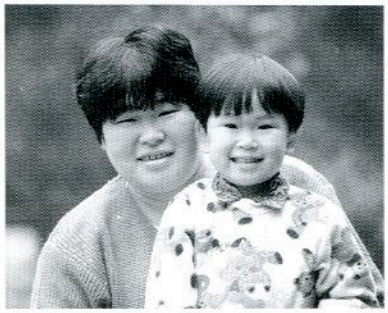
私たちが子どものころは、不便で貧しい山村でしたが、今は道路も整備され、人々の生活も昔とは比べようもなくなっています。しかし、この山の営みは、少しも変わっていないように思います。

美しい故郷の山を後にして、四十年の歳月が流れました。そして、ここ八王子にささやかな店を開いて三十年、すし屋一筋に励んできました。

明けて新年早々には、還暦の同級会。懐かしい人たちとの再会を楽しみにしています。

人生の大半を他郷で過ごした私ですが、心にはいつも故郷の山々があります。それは私にとって「聖なる山」であり、心の支えでもあるのです。

ことの賛否は別として、この阿武隈山地の一郭が、新首都の候補地となったのも「宜なるかな」です。



高野安由美ちゃん
平成6年5月17日生まれ
おとうさん　晴一さん
おかあかん　百合子さん
（発地岡）

安由美ちゃんの自慢

安由美ちゃんは、歯みがきが大好き。だから虫歯が１本もありません。「歯にばいきんがいるよ」といって、自分から進んでみがきます。好き嫌いなく何でも食べる、よい子の安由美ちゃんです。

こちら窓口

11月１日から
30日までの届出

●お誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	月/日	保護者
浅屋敷	鈴木　雄斗	11/4	芳男
東前田	飯島　夢香	11/6	滋雄
大石草	鈴木　圭介	11/10	正人

●おくやみ申し上げます

地区	亡くなられた方	月/日	年齢
本坂	円谷　正雄	11/3	79
真坂	小林　直次	11/20	74
広畑	蛭田　一美	11/21	69

【訂正とおわび】

11月号の「お誕生おめでとう」の中で「藤田健人」とあるのは「藤田健斗」の誤りでした。ここに訂正し、おわびいたします。

吐き気をもよおします。

車酔いを防ぐには、事前に十分な睡眠をとり、消化の悪いものは食べないようにします。空腹はかえって酔いやすくなるので、軽い食事はとっておきましょう。

乗車するときは、揺れの少ない前方の座席に座ります。目からの刺激も原因になるので、動きの速い近くの景色は見ずに、遠くの景色を眺めましょう。

運転手が酔わないのは、カーブする方向に体を傾けて無意識のうちに平衡感覚の防御体勢をとっているからです。しかし乗客は、カーブと反対方向に体が傾いて強い刺激を受けてしまうため、酔いやすくなるのです。前方の景色をよく見てカーブの方向に体を傾けたり、運転手の上体の動きを見てそれに合わせたりすることで、車酔いを防ぐことができます。

不安感も車酔いに影響します。乗車中はおしゃべりやゲームをして不安を忘れるようにします。ただし読書は逆効果。「昨夜はよく寝たから大丈夫」など、自分を暗示にかけることも意外に効果的です。

今月の納付

村・県民税　4期分

国民年金保険料　12月分

納期限　12月22日（月）

12月は「村税完納推進月間」です。納期内に納めましょう。



募集

平成10年度 健康カレンダー写真

村では「平成十年度健康カレンダー」に掲載するため、村民の皆さんが撮影した写真を次により募集します。

〔応募資格〕　鮫川村民

〔テーマ〕　①すくすく赤ちゃん　②愛犬と私　③私が作った（採った）健康食材

〔募集作品〕　カラープリントで、各テーマ一人一点

作品の裏面に、テーマ、応募者の住所・氏名を記入するとともに、各テーマごとに次の事項も記入してください。

①**すくすく赤ちゃん**＝保護者名、赤ちゃんの名前・生年月日・性別　②**愛犬と私**＝飼い主名、犬の名前・生年月日・性別　③**私が作った（採った）健康食材**＝作った（採った）人の名前、食材名（菌床シイタケ、マイタケ、クリタケ、畑ワサビなど）

〔応募締め切り〕　平成十年一月三十日（金）

〔応募上の注意〕　①健康カレンダーにふさわしい作品　②応募者本人が撮影したもので未発表の作品　③被写体が人物の場合は、本人（保護者）の承諾を得ること　④応募作品は採用の有無にかかわらず返却しません

〔応募・問い合わせ先〕　住民課保健係（☎内線235）

第44期自衛隊生徒

防衛庁では、第四十四期自衛隊生徒（中学校卒）を次により募集します。

〔受付期間〕　平成十年一月四日（日）まで（ただし、平成十年三月に中学校卒業予定の者については、文部・労働両省から示された期日以降に実施します）

〔応募資格〕　平成十年四月一日現在で、十五歳以上十七歳未満（昭和五十六年四月二日から昭和五十八年四月一日までの間に生まれた者）の男子で中学校を卒業した者（平成十年三月卒業見込みの者を含む）

〔試験〕　①第一次＝平成十年一月五日（月）　②第二次＝平成十年一月二十一日（水）から二十五日（日）の間の指定する日

〔問い合わせ〕　自衛隊白河募集事務所（☎0248-24-0372）

年金

ご存じですか 国民年金基金

国民年金基金は、自営業などの人が、ゆとりのある老後を過ごせるように、老齢基礎年金に上乗せ給付を行う公的な年金制度です。

国民年金基金に加入することにより、自営業などの人にもサラリーマン並みの年金が保障されます。

〔加入できる人〕　国民年金の第一号被保険者（自営業者とその配偶者）で保険料を納めている二十歳以上六十歳未満の人が加入できます。ただし、農業者年金に加入している人や国民年金保険料の免除を受けている人は加入できません。

〔年金給付〕　自分の生活設計に合わせて、給付の型や加入する口数を選び、年金額を設定する仕組みになっています。

〔掛金額〕　選択する給付の型、口数及び加入時の年齢によって決まります。月々六万八千円以内の掛金で年金額を設定できますので、将来設計に合わせて好きなコースが選べます。

〔税制上の特典〕　掛金は全額、社会保険料控除の対象となります。また、受け取る年金には、公的年金控除が適用されます。

〔加入手続き・問い合わせ〕　福島県国民年金基金（☎0245-23-3387）

国の教育ローン

国民金融公庫では「国の教育ローン」の貸し付け申し込みを次により受け付けます。

〔対象〕　高校、短大、大学、専修学校、各種学校、養護学校の高等部、外国の高校（六カ月以上の留学）などに入学、在学

〔融資金額〕　学生・生徒一人につき百五十万円以内

〔利率〕　年二・五％（十一月十日現在）

〔返済方法〕　元利均等毎月払い（ボーナス併用など可能）

〔申し込み・問い合わせ〕　国民金融公庫郡山支店（☎0249-23-7140）

広報さめがわ1月号「私の年賀状」

広報さめがわ一月号では、新春特別企画「私の年賀状」を企画し、皆さんの年賀状を紙上で紹介します（ただし、人数に限りがあります）。

掲載希望の方は、十二月十九日（金）までに、総務課広報担当（☎内線214）までご連絡ください。

■11月号訂正

4ページ「越惣太郎就縛の地」の文中、「封幕運動」を「討幕運動」に、「常光寺」を「上行寺」に訂正します。

農業

農業委員会委員選挙人名簿登載申請

農業委員会では、毎年一月一日現在で、農業委員会委員の選挙人名簿登載申請を受け、その資格を審査しています。

次により登載申請書（別途配布）を記入し、平成十年一月九日（金）までに組長さんを通じ農業委員会事務局に提出してください。

・選挙人名簿登載資格＝①平成十年一月一日現在、村内に住所があり、平成十年三月三十一日までに満二十歳に達する人（昭和五十三年四月一日以前に生まれた人）②一〇アール以上の農地を耕作している人と、その配偶者及び同居親族 ③年間おおむね六十日以上農業に従事する人

（問い合わせ） 農業委員会事務局（☎内線245）

相談

心配ごと相談

（日時） 十二月十九日（木）午前十時～午後三時

（場所） 山村開発センター

（問い合わせ） 村社会福祉協議会（☎49－3600）

寄付・寄贈

（敬称略）

▼社会福祉事業のために（金員）＝本坂・円谷政幸、真坂・小林文雄、広畑・蛭田美代志、JA鮫川村、ふるさと文化芸能クラブ **▼さぎり荘へ**＝大房・有賀シゲ（化粧石ケン四十個）、広畑・緑川末治（化粧石ケン百五個） **▼ひだまり荘へ**＝広畑・野島守男（ぞうきん五十枚）、福島市・中井恒峯（絵画三点）、新宿・高木正則（絵画一点）、落合ひまわり会（タンバリン三個、すず二十個）

各種表彰

【地方自治法五十周年記念表彰】

蛭田　一さん（**福原**）＝地方自治法施行50周年福島県記念式典の席上、「地方自治功労者」として表彰（11／11・福島市）

【福島県交通対策協議会会長表彰】

舟木國兒さん（**道少田**）、**村交通対策協議会**＝第36回交通安全県民大会の席上、交通安全活動に対する功績が認められ表彰（10／29・喜多方市）

【教育・文化表彰】

鮫川中学校ＰＴＡ（**小山田一成会長**）＝平成9年度福島県教育・文化表彰式で「社会教育功労賞」を受賞（11／3・福島市）

【環境緑化コンクール】

西野小学校（**佐藤正敏校長**）＝第48回福島県学校林等活動・環境緑化コンクール「学校環境緑化の部」で県知事賞を受賞（10／25、第22回福島県林業祭・郡山市）

【中学生の税に関する作文コンクール】

「県知事賞佳作」**白土一典**さん（**鮫中3年**）、「新白河地区納税貯蓄組合連合会長表彰」**森さつき**さん（**鮫中3年**）、**中島雅隆**さん（**鮫中2年**）＝県内3,237編の応募の中から3人が入選

【新白河地区納税貯蓄組合連合会長表彰】

小松幹夫さん（**新宿**）＝白河税務署の平成9年度納税表彰式の席上、村税継続完納の推進に対する功績が認められ表彰（11／11・白河市）

【林道維持管理コンクール】

林道「東前田線」＝林野庁主催の平成9年度林道維持管理コンクールで、道路愛護活動が認められ「農林水産大臣賞」を受賞

年金保険料が役立っています

将来の年金給付の貴重な財源になる国民年金・厚生年金保険の積立金の一部は、年金制度を支えている被保険者の福祉増進、生活向上のために利用されています。

鮫川村では、平成8年度に次の2つの事業に運用されました。

鮫川簡易水道施設整備事業

- 事業費　122,511,590円
- 融資額　66,400,000円

青生野地区営農飲雑用水施設整備事業

- 事業費　23,000,000円
- 融資額　8,300,000円

土地改良区理事長に前田武久さん

鮫川村土地改良区役員の任期満了により、理事長に前田武久さん（大字赤坂東野字官代）が選任されました。任期は平成九年十一月一日から四年間で、土地改良事業の推進などに当たられます。また、次の方々が役員に決まりました。

〔土地改良区役員〕（敬称略）

理事長（庶務担当） 前田武久
副理事長（会計担当） 船木彦助
理事（工事担当） 蛭田榮次
理事（換地担当） 鈴木辰男
理事（評価担当） 坂本忠雄
監事（総括監事） 増子久美
監事 長井太一

総代30人も決まる

任期満了による鮫川村土地改良区総代選挙が十一月十二日に行われ、無投票で次の三十人の方々が当選されました。任期は平成九年十一月十五日から四年間です。

土地改良区総代

氏名	住所
大平忠一	二反田
芳賀栄良	鍛治平
芳賀元治	江竜田
鈴木新市	西
舟木久	岡田
遠藤光利	木之根
鈴木栄	鍬木田
笹島光儀	青生野
円谷次男	中沢
関根建一	戸草
中川西源逸	大久保
我妻佐利	落合
岡部達男	前沼
増谷猛	荻ノ沢
木野正	追木
生田目義也	辺栗
國井善郎	越虫
大平博明	北中ノ町
大森嘉幸	青生野
鈴木一良	新宿
高木勝寿	薄ケ久保
吉田元美	大房
矢吹健雄	仁田
生田目忠一	青生野
宗田貞雄	内ケ竜
湯座一男	取上
生田目清	菅田
緑川勝美	押野
渡邊照美	滝ノ下
石井豊	酒垂

平成9年12月号 No.528
発行・編集／鮫川村役場総務課

〒963-84 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL (0247)49-3111 FAX (0247)49-2651

印刷／佐藤印刷所



バードウオッチング

鮫川の野鳥

ツグミ（ツグミ科）

秋に大きな群れで渡って来るこの鳥は、村内でもごく普通に見られる。体の色は地味な茶色だが、白い腹に黒いはん点が目立つ。山に雪が降るころになると群れを解き、村里近くの農耕地でエサを深すが、両足をそろえてピョンピョン跳び歩く姿がおもしろい。冬の間は、飛び立つときに「キョッキョッ」と鳴くくらいだが、はるか遠くシベリア大陸などで繁殖の時期には、他のツグミ類のように美しい声でさえずるといわれる。

写真・文　鈴木　一さん（村内鍬木田在住）

ごみ収集日（12・1月）

収集場所	種別	12月	1月
江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	8.12.19.22 26.29
	不燃物	5.19	9.23
さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	8.12.19.22 26.29
	不燃物	3.17	7.21
鮫川分校（可燃物木曜のみ）鮫川中学校コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	8.12.19.22 26.29
	不燃物	4.18	8.22
関下～越虫～青生野小学校～世々麦～葉貫～蕨ノ草～中沢～関口コース	可燃物	3.10.17.24.30	7.14.21.28
	不燃物	3.17	7.21
真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢コース	可燃物	3.10.17.24.30	7.14.21.28
	不燃物	4.18	8.22
官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	3.10.17.24.30	7.14.21.28
	不燃物	5.19	9.23
石井草～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	3.10.17.24.30	7.14.21.28
	不燃物	26	30

編集後記

平成九年も、残すところあとわずかとなりました。今月号では、この一年間を振り返り、主な出来事を「広報さめがわ」から拾ってみました。皆さんにとって、平成九年はどのような年でしたか。心に残る思い出は何ですか。私にとっては、取材を通していろいろな人に出会うことができ、とても充実した一年だったように思います。今年一年「広報さめがわ」にご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。

（舟木）

休日のお医者さん

月日曜	病・医院名	所在地	電話番号
12月14日(日)	東白川中央病院	棚倉町	33-3263
	木村医院	矢祭町	46-3528
	愛恵会大野診療所	石川町	26-2615
12月21日(日)	藤田医院	棚倉町	33-2013
	金沢医院	矢祭町	46-2312
	鹿岡産婦人科医院	石川町	26-2623
12月23日(火)	あらまちクリニック	棚倉町	33-8018
	東舘診療所	矢祭町	46-3165
	大野病院	石川町	26-1181
12月28日(日)	杉山胃腸科外科皮膚科	棚倉町	33-7551
	中島医院	塙町	43-0373
	富永医院	浅川町	36-2027
12月29日(月)	中島病院	石川町	26-3415
	添田医院	石川町	26-2538
	—	—	—
12月30日(火)	角田外科医院	浅川町	36-2067
	務川医院	石川町	26-5585
	—	—	—
12月31日(水)	三瓶胃腸科医院	石川町	26-1234
	石川中央医院	石川町	26-2024
	—	—	—

今月の人口（11月1日現在）

人口	男	女	世帯
4,958人（－2）	2,449人（－4）	2,509人（＋2）	1,122戸（－1）